

【 積水メディカル 試薬・測定法分類コード表 】

臨床検査室等 送付日 : 令和 8 年 9 月 8 日 (火) (到着予定)
締切日 : 令和 8 年 9 月 17 日 (木)

1. 日常検査において、メーカー指定の製造業者製品校正物質によりキャリブレーションを実施している場合このキャリブレータを検体として測定した場合、企業の標準品にてトレーサビリティを確認したことになりますので、「企業の標準品」コード番号（7）を選択してください。

測定装置名	企業名	コード
積水メディカル EV800	日立ハイテクノロジーズ 積水メディカル	BBC520

TEL 0120-249-977

積水メディカル株式会社
カスタマーサポートセンター

[項目別記入例]

1. 総蛋白

トレーサビリティの確認調査あり

- (1) 【アナセラム ALB・TP標準液】 【セロノルム・ヒューマン】
【セロノルム・マルチキャリブレータ】 【血清マルチキャリブレーター (SEKISUI)】 を使用した場合

	測定法	試薬キットの 製造販売元	キャリブレータの種類	単位 桁数
クリメイト TP	11 ビューレット法	15 積水メディカル	2 製造販売元指定のもの (血清ベース)	g/dL 0.0
オートセラ TP				
クオリザイント TP				

- (2) 【総蛋白・アルブミン標準血清】 【セロノルム・ヒューマン】
【セロノルム・マルチキャリブレータ】 【血清マルチキャリブレーター (SEKISUI)】 を使用した場合

	測定法	試薬キットの 製造販売元	キャリブレータの種類	単位 桁数
ピュアオートS TP	11 ビューレット法	04 カインス	2 製造販売元指定のもの (血清ベース)	g/dL 0.0
クオリザイント TP-N				

2. アルブミン

トレーサビリティの確認調査あり

- (1) 【アナセラム ALB・TP標準液】 【セロノルム・ヒューマン】
【セロノルム・マルチキャリブレータ】 を使用した場合

	測定法	試薬キットの 製造販売元	キャリブレータの種類	単位 桁数
クリメイト ALB	11 BCG法	15 積水メディカル	2 製造販売元指定のもの (血清ベース)	g/dL 0.0
オートセラ ALB				

- (2) 【セロノルム・ヒューマン】 【血清マルチキャリブレーター (SEKISUI)】
【セロノルム・マルチキャリブレータ】 を使用した場合

	測定法	試薬キットの 製造販売元	キャリブレータの種類	単位 桁数
ピュアオートS ALB-N	22 BCP改良法	15 積水メディカル	2 製造販売元指定のもの (血清ベース)	g/dL 0.0
クオリザイント ALB-N				

3. 総ビリルビン

- (1) 【ユニメディ「T-BIL-LQ」、「D-BIL-LQ」用ビリルビン標準液】 を使用した場合

	測定法	試薬キットの 製造販売元	キャリブレータの種類	単位 桁数
ユニメディ「T-BIL-LQ」	31 酵素法	39 ニプロ	2 製造販売元指定のもの (血清ベース)	mg/dL 0.0※

※：日常検査で報告している小数点以下 1 桁または 2 桁で回答してください

4. 直接ビリルビン

- (1) 【ユニメディ「T-BIL-LQ」、「D-BIL-LQ」用ビリルビン標準液】 を使用した場合

	測定法	試薬キットの 製造販売元	キャリブレータの種類	単位 桁数
ユニメディ「D-BIL-LQ」	32 酵素法 δビリルビンを測り込まない方法	39 ニプロ	2 製造販売元指定のもの (血清ベース)	mg/dL 0.0※

※：日常検査で報告している小数点以下 1 桁または 2 桁で回答してください

5. ブドウ糖

トレーサビリティの確認調査あり

(1) 【アナセラムGLU標準液】

を使用した場合

	測定法	試薬キットの 製造販売元	キャリブレーションの種類	単位 桁数
ヒポオートS GLU-R	21 ヘキソキナーゼ・UV法	15 積水メディカル	1 製造販売元指定のもの (溶媒ベース)	mg/dL 整数
ヒポオートS GLU				
クオリゼント GLU				
オートセア GLU				

(2) 【血清マルチキャリブレーター(SEKISUI)】

を使用した場合

	測定法	試薬キットの 製造販売元	キャリブレーションの種類	単位 桁数
ヒポオートS GLU-R	21 ヘキソキナーゼ・UV法	15 積水メディカル	2 製造販売元指定のもの (血清ベース)	mg/dL 整数
ヒポオートS GLU				
クオリゼント GLU				
オートセア GLU				

6. 総カルシウム

トレーサビリティの確認調査あり

(1) 【アナセラム CA標準液】

を使用した場合

	測定法	試薬キットの 製造販売元	キャリブレーションの種類	単位 桁数
クリメイト CA	31 クレゾールフタレインコンプレクソン法 (o-CPC法)	15 積水メディカル	1 製造販売元指定のもの (溶媒ベース)	mg/dL 0.0
オートセア CA				
PTS用オートセア CA				
クオリゼント CA				

(2) 【セロラム・ヒューマン】

【血清マルチキャリブレーター(SEKISUI)】

を使用した場合

	測定法	試薬キットの 製造販売元	キャリブレーションの種類	単位 桁数
クリメイト CA	31 クレゾールフタレインコンプレクソン法 (o-CPC)	15 積水メディカル	2 製造販売元指定のもの (血清ベース)	mg/dL 0.0
オートセア CA				
PTS用オートセア CA				
クオリゼント CA				
アキラスオート Ca II	61 酵素法	11 シノテスト		

7. 無機リン

トレーサビリティの確認調査あり

(1) 【アナセラム IP標準液】

を使用した場合

	測定法	試薬キットの 製造販売元	キャリブレーションの種類	単位 桁数
クリメイト IP-2	12 モリブデン酸(モリブデン青法) 除蛋白しない方法	15 積水メディカル	1 製造販売元指定のもの (溶媒ベース)	mg/dL 0.0
クオリゼント IP				

(2) 【セロラム・マルチキャリブレーター】

【血清マルチキャリブレーター(SEKISUI)】

を使用した場合

	測定法	試薬キットの 製造販売元	キャリブレーションの種類	単位 桁数
クリメイト IP-2	12 モリブデン酸(モリブデン青法) 除蛋白しない方法	15 積水メディカル	2 製造販売元指定のもの (血清ベース)	mg/dL 0.0
クオリゼント IP				
ヒポオートS IP	31 酵素法			
クオリゼント IP-N				

8. マグネシウム トレーサビリティの確認調査あり

(1) 【アナセラム MG標準液】

を使用した場合

	測定法	試薬キットの 製造販売元	キャリブレーションの種類	単位 桁数
クリニメト MG	31 キシリジルブルー法	15 積水メディカル	1 製造販売元指定のもの (溶媒ベース)	mg/dL 0.0
クリジエント MG				

(2) 【セロノルム・マルチキャリブレーション】 【血清マルチキャリブレーション(SEKISUI)】

を使用した場合

	測定法	試薬キットの 製造販売元	キャリブレーションの種類	単位 桁数
クリニメト MG	31 キシリジルブルー法	15 積水メディカル	2 製造販売元指定のもの (血清ベース)	mg/dL 0.0
クリジエント MG				
アクアオートカイン Mg-II	6 1 酵素法	04 カイン		

9. 尿素窒素 トレーサビリティの確認調査あり

(1) 【アナセラム UN標準液】

を使用した場合

	測定法	試薬キットの 製造販売元	キャリブレーションの種類	単位 桁数
ピュアオートS UN-N	23 アンモニア消去法	15 積水メディカル	1 製造販売元指定のもの (溶媒ベース)	mg/dL 0.0
クリジエント UN-N				

(2) 【セロノルム・ヒューマン】 【血清マルチキャリブレーション(SEKISUI)】 【セロノルム・マルチキャリブレーション】

を使用した場合

	測定法	試薬キットの 製造販売元	キャリブレーションの種類	単位 桁数
ピュアオートS UN-N	23 アンモニア消去法	15 積水メディカル	2 製造販売元指定のもの (血清ベース)	mg/dL 0.0
クリジエント UN-N				

10. 尿酸 トレーサビリティの確認調査あり

(1) 【アナセラム UA-E標準液】

を使用した場合

	測定法	試薬キットの 製造販売元	キャリブレーションの種類	単位 桁数
ピュアオートS UA	31 ウリカーゼ・ ペルオキシダーゼ法	15 積水メディカル	1 製造販売元指定のもの (溶媒ベース)	mg/dL 0.0
オートセラS UA				
クリジエント UA				

(2) 【セロノルム・ヒューマン】 【血清マルチキャリブレーション(SEKISUI)】 【セロノルム・マルチキャリブレーション】

を使用した場合

	測定法	試薬キットの 製造販売元	キャリブレーションの種類	単位 桁数
ピュアオートS UA	31 ウリカーゼ・ ペルオキシダーゼ法	15 積水メディカル	2 製造販売元指定のもの (血清ベース)	mg/dL 0.0
オートセラS UA				
クリジエント UA				

1 1. クレアチニン

トレーサビリティの確認調査あり

(1) 【アナセラム CRE標準液】

を使用した場合

	測定法	試薬キットの 製造販売元	キャリブレーションの種類	単位 桁数
ピロアトス CRE-N	21 酵素法	15 積水メディカル	1 製造販売元指定のもの (溶媒ベース)	mg/dL 0.00
ピロアトス CRE-L				
クリジエント CRE				

(2) 【セロノム・マルチキャリブレーション】

【血清マルチキャリブレーション(SEKISUI)】

を使用した場合

	測定法	試薬キットの 製造販売元	キャリブレーションの種類	単位 桁数
ピロアトス CRE-N	21 酵素法	15 積水メディカル	2 製造販売元指定のもの (血清ベース)	mg/dL 0.00
ピロアトス CRE-L				
クリジエント CRE				

1 2. 血清鉄

トレーサビリティの確認調査あり

(1) 【セロノム・マルチキャリブレーション】

【血清マルチキャリブレーション(SEKISUI)】

を使用した場合

	測定法	試薬キットの 製造販売元	キャリブレーションの種類	単位 桁数
ピロアトス FE	21 直接比色法	15 積水メディカル	2 製造販売元指定のもの (血清ベース)	μg/dL 整数
クリジエント FE				

1 3. AST

トレーサビリティの確認調査あり

JSCC標準化対応法の検量は、検量用ERM【酵素キャリブレーションプラス「ゲイ」】で行って下さい。

	測定法	利用している 単位	試薬キットの 製造販売元	検量法
ピロアトス AST-L	11 JSCC標準化対応法	1 標準化対応法 の国際単位	15 積水メディカル	1-1 企業の酵素キャリブレーションを用いた 製造販売元指定
クリジエント AST-L				

1 4. ALT

トレーサビリティの確認調査あり

JSCC標準化対応法の検量は、検量用ERM【酵素キャリブレーションプラス「ゲイ」】で行って下さい。

	測定法	利用している 単位	試薬キットの 製造販売元	検量法
ピロアトス ALT-L	11 JSCC標準化対応法	1 標準化対応法 の国際単位	15 積水メディカル	1-1 企業の酵素キャリブレーションを用いた 製造販売元指定
クリジエント ALT-L				

1 5. LD

トレーサビリティの確認調査あり

IFCC標準化対応法の検量は、検量用ERM【酵素キャリブレーションプラス「ゲイ」】で行って下さい。

	測定法	利用している 単位	試薬キットの 製販元	検量法
ピロアトス LD-IFCC	12 IFCC法	1 標準化対応法 の国際単位	15 積水メディカル	1-1 企業の酵素キャリブレーションを用いた 製造販売元指定
クリジエント LD-IFCC				

16. ALP

トレーサビリティの確認調査あり

IFCC標準化対応法の検量は、検量用ERM【酵素キャリブレータープラス「グアイチ」】で行って下さい。

	測定法	利用している 単位	試薬キットの 製販元	緩衝液
ピロリン酸S ALP-IFCC	12 IFCC法	1 標準化対応法 の国際単位	15 積水メディカル	3 2-アミノ-2-メチル-1-プロパノール (AMP)
クオリザント ALP-IFCC				
	検量法			
ピロリン酸S ALP-IFCC	1-1			
クオリザント ALP-IFCC	企業の酵素キャリブレーションを用いた 製造販売元指定			

17. γ -GT

トレーサビリティの確認調査あり

JSCC標準化対応法の検量は、検量用ERM【酵素キャリブレータープラス「グアイチ」】で行って下さい。

	測定法	利用している単位	試薬キットの製販元	検量法
ピロリン酸 γ -GT	11 JSCC標準化対応法	1 標準化対応法の国際単位	15 積水メディカル	1-1 企業の酵素キャリブレータを用いた製造販売元指定
クオリザント γ -GT				

18. CK

トレーサビリティの確認調査あり

JSCC標準化対応法の検量は、検量用ERM【酵素キャリブレータープラス「グアイチ」】で行って下さい。

	測定法	利用している 単位	試薬キットの 製販元	検量法
ピロアト S CK-L	11 JSCC(IFCC) 標準化対応法	1 標準化対応法 の国際単位	15 積水メディカル	1-1 企業の酵素キャリブレーションを用いた 製造販売元指定
クオリザント CK-L			11 シノテスト	
シグナスアト CK				

19. アミラーゼ

トレーサビリティの確認調査あり

◇ 検量用ERMによる検量の場合(JSCC標準化対応法)

JSCC標準化対応法の検量は、検量用ERM【酵素キャリブレータープラス「グアイチ」】で行って下さい。

	測定法	測定法 基質の分類	利用している 単位	試薬キットの 製販元
ピロリアクトS AMY-G2	112 JSCC標準化対応法	740 Gal-G-2CNP	1 標準化対応法 の国際単位	15 積水メディカル
クオリジエント AMY-G2				
ピロリアクトS AMY-G7				
クオリジエント AMY-G7				
	検量法			
ピロリアクトS AMY-G2	1 - 1 企業の酵素キャリブレーションを用いた 製造販売元指定			
クオリジエント AMY-G2				
ピロリアクトS AMY-G7				
クオリジエント AMY-G7				

20. コリンエステラーゼ トレーサビリティーの確認調査あり

◇ 検量用ERMによる検量の場合(JSCC標準化対応法)

JSCC標準化対応法の検量は、検量用ERM[酵素キャリブレータープラス「グイ仔」]で行って下さい。

	測定法	測定法 基質の分類	利用している 単位	試薬キットの 製販元
ヒューオートS CHE	11 JSCC標準化対応法	32 ベンゾイルコリン誘導体を基質とする方法 p-ヒドロキシベンゾイルコリンを 基質とする方法	1 標準化対応法 の国際単位	15 積水メディカル
クオリゼント CHE				
	検量法			
ヒューオートS CHE	1-1 企業の酵素キャリブレーションを用いた 製造販売元指定			
クオリゼント CHE				

21. 総コレステロール トレーサビリティーの確認調査あり

	測定法	試薬キットの 製販元	キャリブレータの種類	単位 桁数
ヒューオートS CHO-N	11 コレステロール酸化酵素法	15 積水メディカル	2 製造販売元指定のもの (血清ベース)	mg/dL 整数
コレステスト CHO				
クオリゼント CHO				

22. 中性脂肪 トレーサビリティーの確認調査あり

	測定法	試薬キットの 製販元	キャリブレータの種類	単位 桁数
ヒューオートS TG-N	21 酵素比色法 グリセロールを消去する方法	15 積水メディカル	2 製造販売元指定のもの (血清ベース)	mg/dL 整数
オートセラス TG-N				
コレステスト TG				
クオリゼント TG				
コレステストN TG	22 酵素比色法 グリセロールを消去しない方法(直接法)			

23. HDL コレステロール トレーサビリティーの確認調査あり

	測定法	キャリブレータの種類	単位 桁数
コレステストN HDL	01-1201 沈殿操作を行わない方法：積水メディカル (コレステストN HDL、クオリゼント HDL)	2 製造販売元指定のもの (血清ベース)	mg/dL 整数
クオリゼント HDL			

24. LDL コレステロール

	試薬キット名	キャリブレータの種類	単位 桁数
コレステスト LDL	01-1201 積水メディカル (コレステスト LDL、クオリゼント LDL)	2 製造販売元指定のもの (血清ベース)	mg/dL 整数
クオリゼント LDL			

25. HbA1c

ルディア

分析装置の製造販売元名・試薬キットの製造販売元名		キャリブレーションおよび 検量方法の種類	単位 桁数
キット名称			
(RE)ルディアN HbA1c	03-1201 酵素法 積水メディカル (ルディアN HbA1c、HbA1cオート「TBA」)	1 製造販売元指定の標準液 表示値をそのまま使用	% 0.0
ルディアN HbA1c			
ルディアN HbA1c II			
Lタイプ ルディアN HbA1c	03-1202 酵素法 積水メディカル (Lタイプ ルディアN HbA1c)		

測定結果はNGSP値を記載して下さい

測定用前処理試料の作製

精度管理用試料（凍結乾燥品）を測定するには下記の手順で試料の調製を行ってください

<準備物>

1. 精度管理用試料（凍結乾燥品）
2. **精度管理用試料専用希釈液（専用希釈液）**・・・弊社DMRにお申し付けください
3. 「**ルディアN HbA1c用HbA1c前処理液**」、「**ルディアN HbA1c用HbA1c前処理液（Ⅱ）**」
又は「**Lタイプ HbA1c前処理液**」

<調製方法>

- (1) 精度管理用試料（凍結乾燥品）を指定された手順で溶解します



精度管理試料を精製水で溶解します

- (2) 溶解した精度管理用試料 **0.1 mL** に **専用希釈液 0.1 mL** を添加混合します



精度管理試料
0.1mL

+



専用希釈液
0.1mL

=



HbA1c混合試料
0.2mL

- ・ (RE) ルディアN HbA1c、ルディアN HbA1c、ルディアN HbA1c IIをご使用の場合

【機種：日立、キヤノン、日本電子、ベックマン ほか】

- (3) (2) で混合した **HbA1c混合試料 0.1 mL** に「**ルディアN HbA1c用HbA1c前処理液**」**0.6 mL**
又は「**ルディアN HbA1c用HbA1c前処理液(Ⅱ)**」**0.6 mL** を加えて攪拌しHbA1c前処理試料
とします。調製後速やかに測定するか冷蔵し1時間以内に測定します。



HbA1c混合試料
0.1mL

+



HbA1c前処理液
0.6mL

=



HbA1c
前処理試料

→ 測定

- ・ EV800、日立7180オプション機能付、3500ではコントロールポジション又は項目選択画面にて検体種別“その他”で依頼し測定します
- ・ TBA-120FR系、AccuteRX 400FR自動前処理機能付では患者依頼画面にて“再検1”又は“再検2”で依頼し測定します
- ・ TBA-nx360ではオーダー画面にて項目選択しアッセイオプションにて希釈タイプ“HemB”で依頼し測定します
- ・ ビオリス 30iではコントロールポジション又は検体受付画面にて検体種別“HbA1c(溶血)”で依頼し測定します

【機種：日本電子BM シリーズ、ZS050で自動前処理を行う装置】

- (3) (2) で混合した **HbA1c混合試料 0.1 mL** に「**ルディアN HbA1c用HbA1c前処理液**」**0.4 mL**
又は、「**ルディアN HbA1c用HbA1c前処理液(Ⅱ)**」**0.4 mL** を加えて攪拌しHbA1c前処理試料
とします。調製後速やかに測定するか冷蔵し1時間以内に測定します。



HbA1c混合試料
0.1mL

+



HbA1c前処理液
0.4mL

=



HbA1c
前処理試料

→ 測定

- ・ 日本電子BMシリーズ自動前処理機能付きではコントロールポジション又は溶血済みポジションで測定します
- ・ 日本電子ZS050自動前処理機能付きでは測定項目受付画面の検体材料から“溶血済み”で依頼し測定します

- ・ Lタイプ ルディアN HbA1cをご使用の場合

ラボスペクト 006/003/008/008a

- (3) (2) で混合した **HbA1c混合試料 0.1 mL** に「**Lタイプ HbA1c前処理液**」**0.4 mL** を加えて攪拌し
HbA1c前処理試料とします。調製後速やかに測定するか冷蔵し1時間以内に測定します。



HbA1c混合試料
0.1mL

+



HbA1c前処理液
0.4mL

=



HbA1c
前処理試料

→ 測定

- ・ ラボスペクト006自動前処理機能付ではコントロールポジション又は項目選択画面にて検体種別“その他”で依頼し測定します

25. HbA1c

【 グリコヘモグロビン分析装置 RC20 】

◎測定装置コード表 より

G. 専用臨床化学分析装置

B) HbA1c測定装置

コード	企業名	測定装置名
GBR201	積水メディカル	RC20

分析装置の製造販売元名・試薬キットの製造販売元名		キャリブプレートおよび検量方法の種類	単位 桁数
キット名称			
RC20	01-1201 HPLC法 (積水メディカル)	1 製造販売元指定の標準液 表示値をそのまま使用	% 0.0

測定結果はNGSP値を記載して下さい。

・グリコヘモグロビン分析装置RC20ではヘモグロビン濃度 **約1.5g/L** の時に最適な測定値が得られます。**HPLC法 試料9, 10の取り扱いに関する補足事項**

サーベイ試料が凍結乾燥品で、規定量の精製水で溶解したときの総ヘモグロビン濃度が約10g/dLの場合は下記の通りです。その他の場合は、弊社までお問い合わせ下さい。

試料を**精製水0.14mL**で溶解し、専用の検体採取デバイスで吸引します。検体採取デバイスを装置にセットし、日常検体と同様に測定を行ってください。

注) 試料を溶解した後は速やかに測定してください。

直ぐに測定できない場合は冷蔵庫で保管し、1時間以内に測定してください。

任意補正値を設定されている場合は、a : 1.000、b : 0.000に戻してから測定してください。

26. インスリン トレーサビリティの確認調査あり

試薬キット名 () 内は製造販売元		単位 桁数	検量点
ナルビア インスリン (積水メディカル)	05-1206 LIA [ラテックス免疫測定法]	μU/mL 0.0	6 点

33. PSA

試薬キット名 () 内は製造販売元		単位 桁数	検量点
ナルビア PSA (積水メディカル)	05-1201 LIA [ラテックス免疫測定法]	ng/mL 0.0	6 点
ナルビア PSA-N (積水メディカル)			

37. TP抗体

試薬キット名 () 内は製造販売元		利用している 単位	桁数	貴施設の 陽性下限値
メデイス TPLA (積水メディカル)	05-1204 LIA [ラテックス免疫測定法]	3 T.U.	0.00	10.00 T.U.

陽性 : 10.0 T.U.以上

38. CRP トレーサビリティの確認調査あり

測定値はERM-470、DA472/IFCCまたはDA474/IFCC(IRMM)を伝達した値により評価します。

	測定法	試薬キットの 製販元	単位 桁数	C R P 標準品 (起源)
ナルビア CRP	21 ラテックス比濁法	15 積水メディカル	mg/dL 0.00	12 ERM-DA470, DA472/IFCC またはDA474/IFCC(IRMM)
ケリジエント CRP				

39. リウマトイド因子 トレーサビリティの確認調査あり

試薬キット名 () 内は製造販売元		単位 桁数	貴施設の カットオフ値
N-アッセイ LA RF-K ニットホー (ニットホーメディカル)	05-2602 LIA [ラテックス免疫測定法]	IU/mL 0.0	参考 15.0 IU/mL以下

48. プロトロンビン時間(PT)

◇ 試薬キット名 ※ () 内は製造販売元

試薬名	コアグピア PT-N (積水メディカル)	01-1201
	コアグピア PT-Liquid (積水メディカル)	01-1202

◇ 測定装置コード

測定装置名	コアプレスタ2000	積水メディカル	KAR201
	CP3000・CP3000a	積水メディカル	KAR202
	S400CF	積水メディカル	KAR203

◇ 標準血漿コード

標準血漿	コアグピア用キャリブレーター-N (積水メディカル)	0061
	コアグピア用キャリブレーター-N (F) (積水メディカル)	0062
	コアグコントロール N (シスメックス)	0010
	AKキャリブラント(INR表示血漿) (シスメックス)	0014

◇ 管理血漿コード

正常域管理血漿	コアグピア用コントロールP-N I (積水メディカル)	1061
	コアグピア用コントロールP-N I (F) (積水メディカル)	1062
	コアグコントロール I X (シスメックス)	1012
異常域管理血漿	コアグピア用コントロールP-N II (積水メディカル)	5061
	コアグピア用コントロールP-N II (F) (積水メディカル)	5062
	コアグコントロール II X (シスメックス)	5014

測定・演算事項

ISI値	試薬キット記載値 or ローカル SI	小数点以下第2位まで報告 0.00
測定値	試料22、試料23の測定値	小数点以下第1位まで報告 0.0 (秒) ※小数点以下第2位を四捨五入
プロトロンビン比	(試料23の秒数) / (試料22の秒数)	小数点以下第2位まで報告 0.00
INR※	(プロトロンビン比) ^{ISI}	小数点以下第2位まで報告 0.00

※INR値の算出：プロトロンビン比のISI乗(べき乗算)により算出します。

ISI	製造販売元指定(試薬キット添付書類記載)の値を使用	1
	自施設で設定したLocal ISI値を使用	2
	検量線によって自動的に算出されるINRからISI値を逆算	3
	その他	9

◇ ISI値の記載について

・コアプレスタ2000

試薬名	キットのISI値を使用する場合	Local ISI値を使用する場合
コアグピアPT-Liquid	バイアル記載の値を適用	適応なし
コアグピアPT-N	キット外箱の コアプレスタ2000 の値を適用	[精度管理/キャリブ]から[項目選択]→[PT INR]の項目を選択し「ISI-加値」の数字を記入してください

・CP3000/CP3000a

試薬名	キットのISI値を使用する場合	Local ISI値を使用する場合
コアグピアPT-Liquid	バイアル記載の値を適用	適応なし
コアグピアPT-N	キット外箱の CP3000・CP3000a の値を適用	[キャリブ]→左下項目欄から「PT」を選択[INR検量線]→[ISI-加値]の数字を記入してください
トロンボチェックPT	キット添書の コアグレックス800 の値を適用	
トロンボチェックPTプラス	キット添書の コアグレックス800 の値を適用	

・S400CF

試薬名	キットのISI値を使用する場合	Local ISI値を使用する場合
コアグピアPT-Liquid	バイアル記載の値を適用	適応なし
コアグピアPT-N	キット外箱の S400CF の値を適用	[ホーム]→[分析]タブ→[検量線]→「PT」を選択→グラフ→[ISI値]の数字を記入してください

49. 活性化部分トロンボプラスチン時間(APTT)

◇ 試薬キット名 ※ () 内は製造販売元

試薬名	コアグピア APTT-N (積水メディカル)	01-1201
	コアグピア APTT-F (積水メディカル)	01-1202

◇ 測定装置コード

測定装置名	コアプレスタ2000	積水メディカル	KAR201
	CP3000・CP3000a	積水メディカル	KAR202
	S400CF	積水メディカル	KAR203

◇ 標準血漿コード 活性%で報告している場合

標準血漿	コアグピア用キャリブレーター N (積水メディカル)	0061
	コアグピア用キャリブレーター N (F) (積水メディカル)	0062
	コアグトロール N (シスメックス)	0010

◇ 管理血漿コード

正常域管理血漿	コアグピア用コントロールP-N I (積水メディカル)	1061
	コアグピア用コントロールP-N I (F) (積水メディカル)	1062
	コアグトロール I X (シスメックス)	1012
異常域管理血漿	コアグピア用コントロールP-N II (積水メディカル)	5061
	コアグピア用コントロールP-N II (F) (積水メディカル)	5062
	コアグトロール II X (シスメックス)	5014

測定事項

測定値	試料22、試料23の測定値	小数点以下第1位まで報告 0.0 (秒) ※小数点以下第2位を四捨五入
-----	---------------	---

※参考調査

APTTクロスミキシングテスト実施調査

・実施していない	10
・次の方法で実施	
混和直後の即時反応のみ測定	21
混和2時間反応後の遅延反応のみ測定 ...	22
即時反応と遅延反応の両方を測定	23

50. フィブリノゲン

◇ 試薬キット名 ※ () 内は製造販売元

試薬名	コアグピア Fbg (積水メディカル)	01-1201
	トロンボチェック Fib(L) (シスメックス)	01-0602

◇ 測定装置コード

測定装置名	コアプレスタ2000	積水メディカル	KAR201
	CP3000・CP3000a	積水メディカル	KAR202
	S400CF	積水メディカル	KAR203

◇ 標準血漿コード

標準血漿	コアグピア用キャリブレーター N (積水メディカル)	0061
	コアグピア用キャリブレーター N (F) (積水メディカル)	0062
	コアグトロール N (シスメックス)	0010

◇ 管理血漿コード

正常域管理血漿	コアグピア用コントロールP-N I (積水メディカル)	1061
	コアグピア用コントロールP-N I (F) (積水メディカル)	1062
	コアグトロール I X (シスメックス)	1012
異常域管理血漿	コアグピア用コントロールP-N II (積水メディカル)	5061
	コアグピア用コントロールP-N II (F) (積水メディカル)	5062
	コアグトロール II X (シスメックス)	5014

測定事項

測定値	試料22、試料23の測定値	(mg/dL) 整数値で報告 ※小数点以下を四捨五入
-----	---------------	----------------------------------